

奥の細道むすびの地「大垣」 十六万市民投句

一般の部



令和六年度三月度 入賞句一覽 投句数 七百七十九句

特選

長野 美代子 選

枝撥ねてはねて雀の梅散らす

大垣市

岡田 あや子

良い句ですね。とても可愛くて、見てみたいです。リフレインが生きており、雀がいつそう可愛いです。無心に行っているのでしょうね。

パスポートゐらぬ大空鳥帰る

大垣市

村田 通夫

先日まで川や池に群れていた鴨が、見るたびに少なくなっている。今年で寒いので、帰るのが遅いのかなあとも思っていました。ところが、いつの間にか少なくなり、川や池が淋しくなっています。大空はパスポートがいなくて、いつでも帰れるのか。自由でいいなあ。

護岸うつ波にのりいる残り鴨

不破郡垂井町

久保田 紘義

残り鴨と言いましたよ、通し鴨と言いましたよ、護岸の波と遊んでいる鴨。これも可愛いですね。俳句とは、このように歌うのも、また良い俳句ができて良いですね。お上手にできてますね。大好きです。

秀逸

雪解落つリズム聞き入る木因碑

本巢市

小泉 裕子

梅ヶ香や白寿を祝ふ伊吹晴

岐阜市

廣瀬 あや子

虫穴を見つけしコート着る勇氣

大垣市

吉川 和子

パレンタイン照れ顔父の包み解く

安八郡神戸町

竹中 元子

立春を迎えてもなお風かたき

大垣市

中村 昌子

さざ波にさざ波重ね春の湖

大垣市

宮脇 和子

雲梯の子の臍のぞく春隣

埼玉県川口市

吉永 寿美子

半分に切りし錠剤「福は内」

愛知県北名古屋市

和田 祐子

耕せり母の肩凝りほぐすこと

岐阜市

堀江 美州

一羽翔ち百の水音鴨帰る

三重県四日市市

後藤 允孝

入選

梅の花や足をとどめし美しさ

大垣市

柳瀬 道子

梅が香や御寺の空ははろばると

大垣市

遠藤 加容子

山影を写す水面へ鴨の水脈

不破郡垂井町

久保田 紘義

木の芽みな尖りて刻を待ちにけり

大垣市

樋口 絹子

園児らの丸い手で撒く年の豆

福井県敦賀市

山田 美千代

窓に寄る差し込む日向短かくて

不破郡垂井町

矢部 順子

天日受けぎんねずやはし猫柳

大垣市

和田 勝子

ひと刷毛の雲侍らせて春伊吹

大垣市

宇佐美 昭子

なつかしき人と会いたる春の宵

大垣市

松野 とし子

山鳩もほつと首振り春兆す

大垣市

坪井 克枝

手水鉢に足掛けて呑む恋の猫

不破郡垂井町

服部 智恵

山眠る遺影とともに吾も眠る

京都府宇治市

八田 弥須子

卒業子生意気そうなにきび面

大垣市

永田 紀彦

炒り豆や香り残して鬼は外

大垣市

川出 久美子

子犬抱き温みもらいて急ぎ足

大垣市

長澤 和子

ヒナ段なく私の造りし紙ヒイナ

大垣市

小倉 笑子

日々新たひらく朝刊花だより

養老郡養老町

佐藤 咲楽

落ち椿友の遺品の手づれ杖

不破郡垂井町

竹嶋 富美子

初蝶や羅漢の鼻をくすぐりぬ

兵庫県神戸市

岸下 庄二

春浅し肩抱き合ふる道祖神

大垣市

森 茂寿

選者吟

春泥をとびて傾むくランドセル

美代子

一般の部

